

沖縄総合事務局 農林水産部 業務説明資料

～文系専攻のみなさまへ～



令和7年4月

内閣府 沖縄総合事務局 農林水産部

多彩な沖縄県の農林水産業

沖縄の農林水産業の特徴

沖縄では、亜熱帯地域の温暖な気候と広大な海に囲まれた地理的特性を活かし、各地で多彩な農林漁業の生産活動が行われています。

夏期にはマンゴー等の熱帯果樹が出荷される一方、国内産が端境期となる冬春期にはいんげん、トマト、かぼちゃ等も出荷されており、一部地域では米の二期作も行われています。

台風の常襲など厳しい自然環境にありますが、特に離島や北部では、さとうきびをはじめ、果樹、畜産等の農林水産業が地域経済を支えています。

主な農林水産物

さとうきび

県内の約6割の農業経営体が栽培する沖縄の基幹作物。収穫面積は全国の過半を占める**(全国1位)**。



収穫時期：12月～3月

マンゴー

近年増加している主力の果実。県内各地で生産され、収穫量は全国の半分を占める**(全国1位)**。



収穫時期：7月～8月

パインアップル

本島北部や八重山地方が中心の本県特産の果実で、収穫量は全国のほぼ100%を占める**(全国1位)**。



収穫時期：6月～8月

ゴーヤー

温暖な気候を活かし、冬春期には全国に供給される主力野菜。収穫量は全国の4割を占める**(全国1位)**。



収穫時期：5月～7月

キク

冬春期に全国へ供給する主力花き。本島を中心に生産され、出荷量は全国の2割を占める**(全国2位)**。



収穫時期：11月～5月

シークワサー

本島北部が中心の本県特産の果樹で、収穫量は全国のほぼ100%を占める**(全国1位)**。



収穫時期：8月～2月

豚

古くから沖縄の食文化を支えており、食味に関連する成分（オレイン酸）が多いと評価が高い沖縄特産の豚（アグー）を活用した肉豚等を生産（飼養頭数全国14位）。



子牛(肉用牛)

年間を通じて豊かな牧草資源を活かした繁殖経営が主体（子牛取引頭数全国4位）。肥育経営も全国トップレベルのブランド牛を生産。



もずく

養殖業により、収穫量は全国のほぼ100%を占める**(全国1位)**。



収穫時期：3月～6月

まぐろ

近海の豊富な海洋資源に恵まれ、全国有数の漁獲量を誇る**(全国7位)**。



漁期：通年（クロマグロ：4月～7月）

沖縄県経済と農林水産業

沖縄県経済における農林水産業・食品産業の位置づけ

沖縄県の経済全体における農林水産業（第1次産業）の割合は、就業者数、総生産額のいずれも全国平均を上回っています。＜表1＞

特に離島では、産業別就業者数や総生産額に占める農林水産業の割合が県平均と比べてもさらに高く、農林水産業が地域の経済の中で極めて重要な役割を果たしていることがわかります。＜表2＞

また、農林水産業と関係の深い食品産業についても、沖縄の製造業全体に占める食料品製造業の割合は、事業所数、従業者数、出荷額のいずれも全国平均を大きく上回ります。＜表3＞



【表1：沖縄と全国就業者数(令和5年)及び総生産額(名目)(令和3年)】

	就業人口（万人）		総生産額（十億円）	
	全産業	第1次産業	全産業	第1次産業
沖縄	75.8	2.8 (3.7%)	4,374	49.9 (1.2%)
全国	6,747	199 (3.0%)	552,571	5,599 (1.0%)

資料：総務省「労働力調査」、
沖縄県「労働力調査」、
内閣府経済社会総合研究所
「国民経済計算年報」、
沖縄県「県民経済計算」

注：（ ）内は全体に占める割合

【表2：離島の第1次産業就業者数(令和2年)及び総生産(令和2年度)】

	第1次産業就業者数 (15歳以上)（人）		総生産額 (百万円)	
	全産業	第1次産業	全産業	第1次産業
離島	57,700	8,384 (14.5%)	418,610	20,020 (4.8%)
沖縄	730,954	28,223 (3.9%)	4,260,875	49,790 (1.2%)

資料：沖縄県「国勢調査」、
沖縄県「離島関係資料」

注1：離島は、沖縄本島以外の島であり、
かつ沖縄本島と埋立、海中道路又は架橋
により連結されていないものを指す。

注2：総生産額は、全部が離島の市町村のみを
集計し、一部に離島を有する市町村は
含まない。

注3：（ ）内は全体に占める割合

【表3：県内の食料品製造業の割合（沖縄）】

	事業所数 (カ所)	従業者数 (人)	出荷額 (億円)
全製造業	983	23,384	4,743
食料品製造業	298	10,553	1,844
食料品製造業の割合	30.3%	45.1%	38.9%
(全国) 食料品製造業の割合	11.1%	14.5%	8.8%

資料：経済産業省「2023年経済構造実態調査」

注1：従業者4人以上の事業所を対象

注2：事業所数、従業者数については
令和5年6月1日現在、出荷額については
令和4年1月～令和4年12月の実績

沖縄のフィールドで 「食」と「環境」を未来に継承する

沖縄総合事務局農林水産部の業務について

国家公務員は、憲法により「全体の奉仕者」と規定され、人々の暮らしをより豊かにするための仕事を担っています。そして、国家公務員一般職は、政策の実行やフォローアップ、組織の円滑な運営のための事務などを担当します。

沖縄総合事務局農林水産部に採用される国家公務員一般職の職員は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承するという農林水産省の使命を地域で遂行し、沖縄県の農林水産業の振興、農山漁村の活性化を図るため、

- ① 中央省庁（農林水産省や内閣府本府）で企画・立案された政策の現場レベルでの実行
- ② 実行された政策の効果や課題等の中央省庁へのフィードバック
- ③ 現場の声に耳を傾けて必要とされる政策を企画・立案するための情報を収集し中央省庁に伝える

といった業務を担っています。



政策の企画立案

中央

- ・ 課題に対する政策手法（法令・事業）の検討
- ・ 法令作成・予算確保（予算要求）
- ・ 政府内・外部（関係者）との調整等（国会対応など）

★沖縄総合事務局農林水産部が行う業務

政策の実行

地方

- ・ 政策の現場への周知
- ・ 法令、事業等の執行（検査、補助金交付等）
- ・ 政策情報の収集
- ・ 現場の問題点の把握

指示・連携・報告
フィードバック

point ! 採用区分による業務の違いはありません！

当部では、行政区分の採用試験合格者から「事務官」として、農学や林学等の技術系の試験区分の合格者から「技官」として職員を採用しておりますが、事務官・技官の区別なく農林水産行政に関する業務を行っていただきます（農業農村工学採用を除く）。



農林水産分野に詳しくなくても大丈夫…？

行政事務は、農林水産省等の施策の周知や補助金の交付事務、食品に関する事業者等への指導などがメインです。

これらの業務を遂行にするに当たって、行政・教養区分の試験を合格された皆様の教養や事務処理能力を必要としております！



もちろん、文系・理系、出身学部、専門知識の有無は問いません。
就職後も学び続ける姿勢を持っていれば、自ずと農林水産業についての知識も身についていきます。

point ! 一般職試験（大卒程度試験）に「教養区分」が新設されます！

国家公務員一般職試験（大卒程度試験）では、2025年度の春試験から、「教養区分」が新設されます。

この区分では、

- 憲法や民法、経済学などの専門試験が課されません。
- 一般的な教養や、速く正確に課題を解く能力に関する試験が実施されます。
- 行政区分と同様、自分が働きたい地域を選んで受験可能です。

物事を広い視野と知識で捉えるのが得意な皆様、その能力を沖縄の農林水産業の振興や農山漁村の活性化のために活かしてみませんか？

農林水産行政に係る業務のスペシャリストとして、沖縄の農林水産業の現場に貢献したい方を幅広く募集しております！

農林水産行政に関する業務とは？

当部には、農業経営の所得安定化対策、農業の有する多面的機能の発揮対策、農畜産物や砂糖類の生産振興、農林水産業に関する統計の作成、輸出の支援、食品の安全性向上の取組、食品産業の振興、森林の整備、漁業の指導監督等、部内各課の所掌する様々な業務があります。

当部職員の具体的な仕事としては、各課が所掌する業務の遂行のため、関係機関との調整、事業者への補助事業等に係る助言・指導・申請書の審査、普及啓発のための情報発信といった仕事や、これらに伴う行政文書の作成、会計経理といった事務作業を行います。



統計調査

内閣府 令和6年9月17日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

～環境負荷低減の取組の「見える化」について
沖縄で初登録された農業生産法人有限会社あらぐさの
「なす」が販売開始されました～

農林水産省が推進している環境負荷低減の取組の「見える化」について、沖縄で初登録された農業生産法人有限会社あらぐさの「なす」が県内量販店で販売開始されました。同社のなすは、栽培期間中に化学農薬・肥料を使用していないこと等から、温室効果ガスの削減に貢献しながら環境に優しい手法で育てられた農産物として国に登録されたものです。

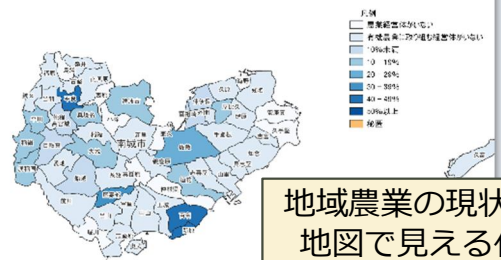
- 概要
農林水産省では、みどりの食料システム戦略に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、令和6年3月から環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。
具体的には、化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用低減、バイオ炭の施用、水田の水管理などの栽培情報を用い、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減への貢献度合いに応じて星の数(★～★★★)でわかりやすく表示するものです。
農業生産法人有限会社あらぐさの「なす」は、環境負荷低減の取組の「見える化」に令和6年6月20日に星3つ(★★★)で登録(登録番号2024-1042-0185)され、令和6年8月1日から県内のコープおきなわ各店舗(コープなご宮里店を除く)にて「みえるらべる」を表示して販売が開始されておりますので、お知らせします。
- 「みえるらべる」について
環境負荷低減の取組の「見える化」に登録された農産物には、「見える化」登録の証明として以下の「みえるらべる」を使用することができます。消費者の皆様がこのラベルを「見て」、環境負荷低減に資する農産物を選べるようにという願いが込められています。
- 販売について
販売店舗：コープ美里店、コープ山内店、コープ牧港店、コープあづるタウン店、コープおろく店、コープこくぼ店、コープ首里店、コープ瀬川店
※日によっては、なすの入荷がなかったり、売切れの場合がございます。
- 店舗取材について
各店舗に配慮し、次のとおり担当者が一括して対応しますので、お知らせいたします。
日 時 令和6年9月25日(水) 10:00～12:00
場 所 コープおきなわあづるタウン店野菜売場
対応者 沖縄総合事務局農林水産部農政課担当者
※取材をご希望の場合は、事前に問合せ先にご連絡をお願いします。
- 参考
環境負荷低減の取組の見える化について(農林水産省)
https://www.maff.go.jp/j/kanko/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html

＜問合せ先＞
内閣府沖縄総合事務局農林水産部 農政課
担当者：武内、金原、横井
TEL：098-866-1627 FAX：098-860-1395

みえるらべる

行政文書の例（プレスリリース）

農業集落別に見た南城市における
有機農業に取り組む経営体数の割合



地域農業の現状を
地図で見える化

漁業取締船による
違法操業外国漁船の取締り



また、一般的なデスクワークのみではなく、統計データ整備のための農家訪問や、漁業取締船・航空機による違法操業取締り等についても職員が実施します。
(農林水産省等が実施する専門研修にも参加可能です。)

行政区分採用の先輩職員からのメッセージ

2023(令和5)年度採用

採用区分：行政沖縄

石垣農林水産センター 一般職員

佐久間 沙愛

2023.4 採用／消費・安全課

2024.4 現職



▶ 学生時代の専攻と採用後の業務内容について

大学では法学部に所属しており、政策学を専攻していました。採用後2年目に石垣島の事務所へ異動となり、現在は石垣農林水産センターの庶務・経理業務を担当しています。また、農作物の生産量を調査する、生産統計業務も担当しています。

▶ 仕事を通してのやりがい

現在担当している農林水産統計は、政策の企画・立案につながる重要なデータとなるため、責任も伴いますが、同時にやりがいを感じています。また、離島での業務は、農家さんにお会いする機会も多く、現場の様子や生の声を聞くことができ、とても貴重な経験となっています。

▶ 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

業務では、農業の専門用語が難しかったりと、苦戦する場面もありますが、上司や先輩方が優しくサポートしてくださるので、日々楽しく業務に取り組んでいます。

農林水産部の仕事内容は、なかなかイメージができませんが、皆さんにとって身近な「食」を支えるやりがいのあるお仕事です。少しでも興味を持った方は、ぜひ一度、業務説明会にご参加ください(^^)

2019(平成31)年度採用

採用区分：行政沖縄

生産振興課 環境事業調整係

兼島 直哉

2019.4 採用／経営課

2021.4 石垣農林水産センター

2022.4 石垣島農業水利事業所

2023.4 生産振興課

(2025.4 農林水産省へ出向)



▶ 学生時代の専攻と採用後の業務内容について

学生時代は、産業経営学科でサービスマーケティングを専攻しておりました。

採用後は、農地の適正利用を確保するための規制業務や、ロボット・AI・IoT等の情報通信技術を活用した「スマート農業」を推進する業務、「有機農業（オーガニック）」を推進する業務などを担当しています。

▶ 仕事を通して成長したこと・仕事のやりがい

仕事の相手方は、農家さんから行政、機械メーカー、スタートアップなど多岐にわたります。役職を問わず様々な方と関わることで、多角的な視点で考える力や多様な知識を習得でき、継続して成長できる点にやりがいを感じています。

▶ 農林水産部を目指す学生へのメッセージ

農業分野の知識だけでなく、法律や経営的知識など多様な知見を持って、国や地域の課題に向き合って支援をしていくお仕事です。文系であっても活躍できる職場になっていますので、是非、説明会にご参加ください。

農林水産部における行政職と技術職の採用について

農林水産部では、事務官（試験区分：行政区分）、技官（試験区分：技術系区分）の区別なく、農林水産行政に関する業務を行っています。

採用区分を問わずに配属されるため、沖縄の農林水産業に関する業務に幅広く携わることが可能です（農業土木のスペシャリストとしての業務を担う農業農村工学等採用者を除く）。



令和6年度

- ・事務官 84名
（うち新規採用 0名）
- ・技官 75名
（うち新規採用 3名）

※技官は農業農村工学等採用者を除いた実員

令和7年度

- ・事務官 83名
（うち新規採用 1名）
- ・技官 74名
（うち新規採用 1名）

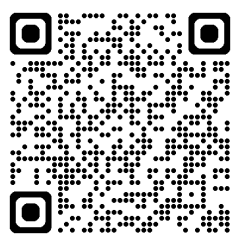
※技官は農業農村工学等採用者を除いた実員

ご案内

農林水産部では、部の業務に関する説明会や職場訪問会を不定期に開催する予定です。

開催案内については、[沖縄総合事務局HP](#)及び[農林水産部 X](#)を通じて告知します。

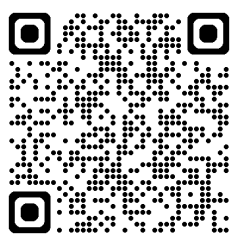
是非お気に入り登録・フォローをお願いします！



局HP：採用情報一覧



局HP：部の概要



局農林水産部 X

▶ お問合せ先
沖縄総合事務局
農林水産部 農政課
☎ (098)866-1627（直通）